

# テクノロジーの設定。ワークフローの自動化。業務を管理。

時間は貴重です。セキュリティテクノロジーのエコシステムを構成する通信、ビデオ、ソフトウェアの管理は、困難な作業になる可能性があります。最も重要なことに集中し、残りを自動化できるいい方法があるとしたらどうでしょうか。

それが、Orchestrator 誕生のきっかけです。

Orchestrator は、管理者がモトローラ・ソリューションズ エコシステム全体で自動化された接続ワークフローを設定できるシンプルなインタフェース ツールです。インテリジェントなワークフローにより、応答時間、有効性、個人の安全性を改善することで効率を高め、1 秒ごとに最大化できます。これにより、セキュリティネットワーク運

用チームは、インストールされている複数のデバイス間のトリガーを検出することができるようになり、対応に伴うリスクとダウンタイムを迅速に削減できるようになります。自動でチームに警告し、手順を実行することで、Orchestrator は日常業務を容易にします。

組織がタスクの実行を許可している時間の  
**90%**<sup>1</sup>  
は、転送時間に費やされています。

# Orchestrate が実現 する安全性とセキュ リティを強化するエ コシステム

安全性、効率、生産性は相互に深く関係しています。モトローラ・ソリューションズの安全性を高めるテクノロジーは、あらゆる業務を改善させることもできます。つまり、共通のプラットフォームによって統合されたテクノロジーは、業務特有の課題に対応できるように支援します。モトローラ・ソリューションズは、安全性を保ち、個人、企業、コミュニティがより強力な方法で共同作業できるようにするテクノロジーを統合するエコシステムを構築することで、このビジョンを実現しました。

これを「セーフティ & セキュリティ エコシステム」と呼んでいます。当社のエコシステムは、ビデオ、無線、ソフトウェアを統合し、お客様が抱えるさまざまな問題の解決を支援するシームレスなワークフローを提供します。Orchestrate は、すべてを自動化するツールです。



## Orchestrate の主な機能

### 複雑なワークフローの簡素化。

Orchestrate は、モトローラ・ソリューションズのエコシステム向けに設計されています。これにより、個々のプロセスを統合し、ワークフローを最適化して、一貫性のある強力な対応を常年实现できます。ワークフローの数と複雑さは、運用のニーズに合わせて拡張できます。Orchestrate は安全かつクラウドベースのテクノロジー横断型プラットフォームなので、ユーザーはカスタム ソリューションにいつでもどこからでもアクセスし、ビルドすることができます。

#### 接続されたワークフロー



リアルタイムで運用の全体像を把握  
ルールベースのイベントトリガー  
テクノロジー間の安全な接続

工程図

#### サービスの自動化



複数のソースからデータを収集  
分析主導のロジック  
エスカレーションと通知の自動化

意思決定の自動化

#### セルフサービス ポータル



拡張可能な運用ビュー  
安全なクラウドベースの  
クロステクノロジー  
直感的で視覚的なルール設計

ドラッグアンドドロップ  
インタフェース



# 自動化の義務

## 最優先の課題に対応するために自動化できる作業は自動化。

適切に運営し、業務を成功させるには、適時性、生産性、コスト管理が重要です。しかし、組織がタスクの実行を許可している時間の 90%<sup>1</sup> が転送時間に費やされています。従来のワークフローは通常、1 件ずつ手作業で処理されますが、プロットして割り当てるのに時間がかかります。割り当てが自動化されていても、組織の 45%<sup>2</sup> は、自動化戦略にその場その場で対応していると答えています。

さらに、サイロ間の統合の課題やシステムとテクノロジー間の継続性の欠如により、組織の能力が制限されています。リソースにも課題があります。企業は、業務の自動化に必要なスキルセットにおいて労働力格差は 92%<sup>3</sup> であると報告しています。接続された製品全体を自動化して、業務の効率に対応し、サイロ化された自動化の障壁を崩して、企業が少ないリソースでより多くのことを実行できるようにするソリューションは、ゲームチェンジャーとなるのは明らかです。

## メリット

Orchestrate により、業務の状況認識能力が向上し、適切なアクションで即座に対応できます。担当者にイベントをリアルタイムで可視化して直接通知し、自動応答へのアクセスを有効にできるようにします。ドアのロック即時解錠/施錠、アクセスカードの有効化/無効化、境界ゲートの開閉などのセキュリティトリガーにより、セキュリティシステムはインテリジェントで、お客様のニーズに合わせてカスタマイズされます。再利用可能な標準化されたワークフローにより、敷地内の不明な車両や不審な車両に対する自動アラートを受信できるため、組織のニーズに効率的に対応できます。



### 直感的で使いやすい

- シンプルなドラッグアンドドロップの設計ツール
- いつでもどこからでもアクセス
- コーディング不要



### 業務の高速化

- 検出と対応の迅速化
- 再利用可能な標準化されたワークフロー
- テクノロジー間の接続

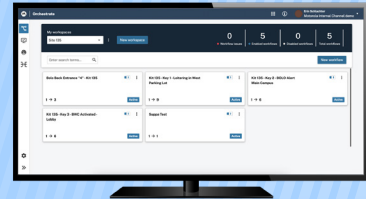


### インテリジェントな自動化

- エンドツーエンドの自動化されたワークフロー
- プロセスの効率化
- 高度なビデオ分析トリガー

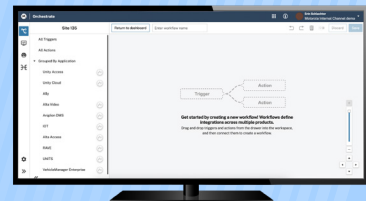
## 動作の仕組み

管理者は、テクノロジー スリープ間でルールベースで自動化されたワークフローを作成することにより、効率を高め、対応時間を削減し、有効性および全体的な安全性を向上させることができます。



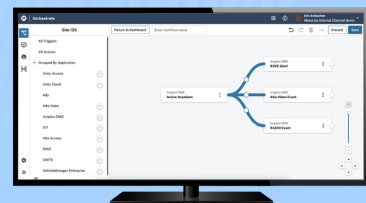
## 探求

運用ビューを簡単に拡張して、効率的なワークフロー管理を実現します。



## 定義

使いやすいグラフィカル インタフェースでビジネス ロジックを確立します。



## 構成

機械支援による意思決定のための自動化されたワークフローを作成



## アクティブ化

分析を活用して条件付きロジックをトリガーし、関連するチームに警告および通知



# インシデント・レスポンスの最適化

Orchestrate を使用して、人工知能とビジネス ロジックを組み合わせることにより、組織は運用イベントの検出、分析、通信、対応方法を決定することができます。



## 検出

当社の業務の広範な領域を効果的に監視するにはどうすればよいでしょうか。



## 分析

イベントを認識し、イベントが発生する状況を正確に評価するにはどうすればよいでしょうか。



## 通信

コラボレーションが必要なワークグループをどのように結び付けますか。



## 管理

エスカレーションする前に問題を管理するにはどうすればよいでしょうか。

### Orchestrate が支援する方法

遠隔地を自動的に監視して、リソースを最大化  
24 時間 365 日、運用データを安全に収集

リアルタイムデータの活用と評価  
トリガー タイプに基づいたアクションとアラートの提供

ルール・ベースによるワークフローの設定  
トリガー条件付きロジックの開始

対応チームの派遣  
インシデント情報の自動的記録

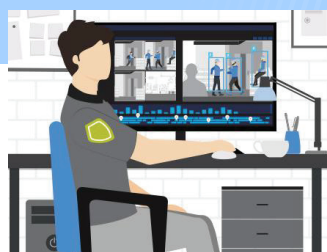
### Orchestrate の実行時: 開放するドアを制限

#### ドア開放アラート



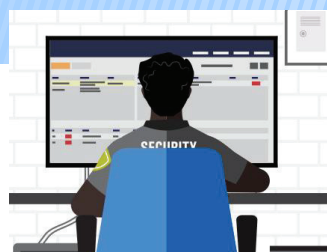
施設外の制限エリアでドアが開放されると、セキュリティにアラートが送信されます。

#### 徘徊に対するアラート



開放されたドアの外で徘徊している個人に対するアラートをセキュリティに発します。

#### 通知の送信



個人の画像と位置が現場のセキュリティチームに送信されます。群集は分散され、ドアが施錠されます。

#### 是正措置の実施



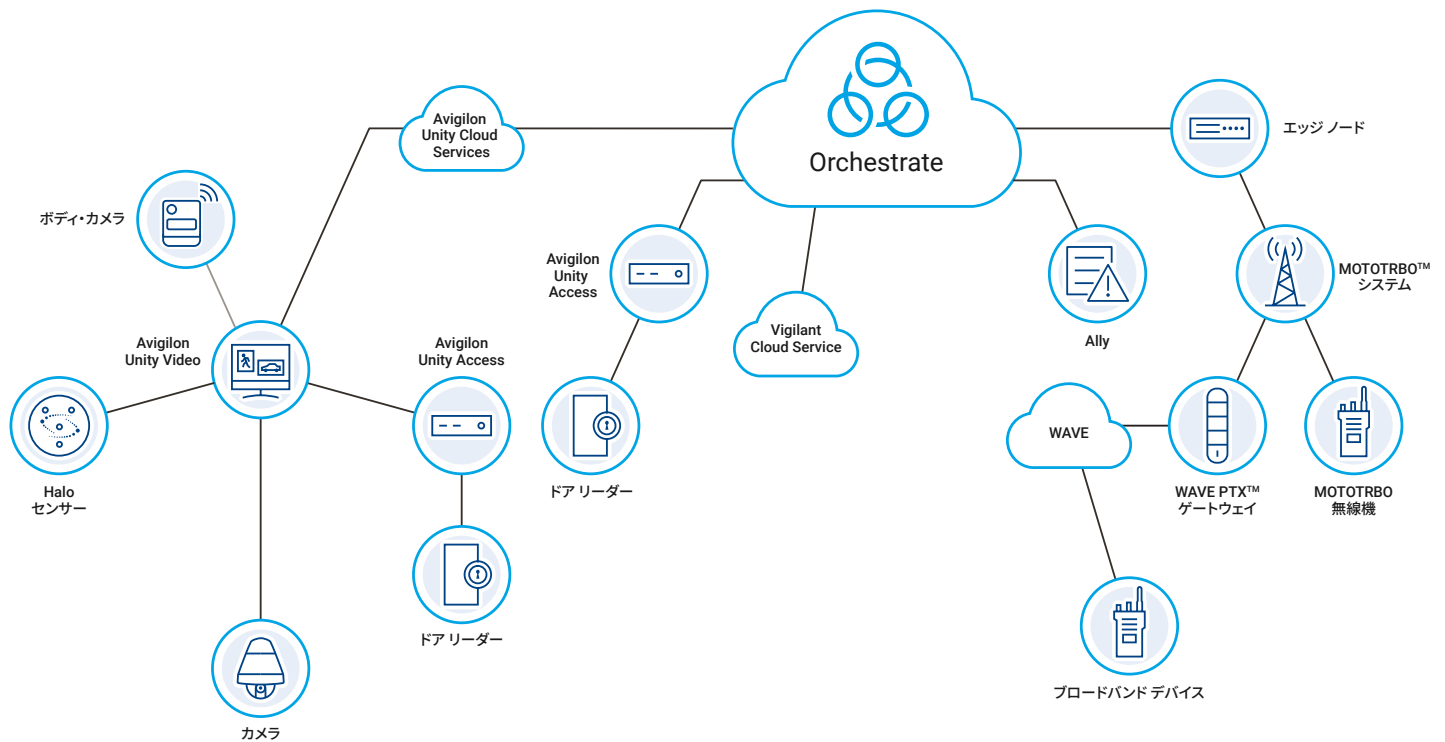
徘徊者の居場所を特定し、インシデントとして記録するため、さらなるトレーニングと分析が可能になります。

Orchestrate により、潜在的な脅威の通知を受け取る人員をコマンド センター/ビデオ ウォールに配置する必要性が軽減されます。インテリジェンスと通知は、コマンド センターを超えて現場に自動的に共有され、すぐに対応できるようになります。





# Orchestrate のテクノロジー エコシステム



## 出荷時から搭載されているセキュリティ

モトローラ・ソリューションズの理念は、サイバーセキュリティのリスクと軽減のオプションを理解し、監視しながら、開発と統合のあらゆる段階にセキュリティを組み込む必要があるということです。ソフトウェア開発ライフサイクル (SDLC) を順守しています。開発ライフサイクル全体を通じて、またその枠を超えて遵守できる最新の標準、承認済みフレームワーク、チェックリスト、ガイダンスを維持および提供するという当社の取り組みを強調しています。



# オペレーションに力を

オペレーション固有の課題に自動的に対処します。



## ワークフローの自動化

リーチの拡大



## ボトルネックの特定

非効率性の最小化



## 生産性の向上

手作業の削減



## リソースの最大化

スタッフ リソースをより効果的に運用



## 透明性の向上

すべての段階でのステータス追跡

## 技術サポート

Orchestrateは、モトローラ・ソリューションズのエキスパートがサポートしています。

**サポート センター**にアクセスして、チャット、メール、電話で認定エキスパートのサポートを受けることができます。豊富なナレッジベースを活用することで、迅速な対応と問題の早急な解決が可能になります。

## インテリジェントなワークフローを導入

組織は、より少ないコストでより多くの成果を挙げ、効率的かつ費用効果の高い方法で行うという課題を継続的に抱えています。Orchestrateを使用すると、脅威や予期しないイベントを即座に認識して対応できるため、最も重要なことに集中できます。シンプルなワークフローから複雑なワークフローまで、運用のニーズを満たし、投資を最大化できます。

Orchestrateの詳細については、モトローラ・ソリューションズの担当者にお問い合わせいただくか、[motorolasolutions.com/orchestrate](https://motorolasolutions.com/orchestrate) をご覧ください

<sup>1</sup> <https://www.pmi.org/learning/library/effective-communication-better-project-management-6480>

<sup>2</sup> [https://www.kofax.com/-/media/Files/Reports/EN/rp\\_forrester-ia-benchmarking-report\\_en.pdf](https://www.kofax.com/-/media/Files/Reports/EN/rp_forrester-ia-benchmarking-report_en.pdf)

<sup>3</sup> <https://www.mckinsey.com/business-functions/operations/our-insights/the-automation-imperative>

